

News Release

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2024年3月27日

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部

市政課題解決を目的とした「小田原市との若手交流会」最終報告会を開催

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部（執行役員 神奈川事業部長：相原 朋子、以下「NTT 東日本」）と小田原市（市長：守屋 輝彦）は、NTT東日本グループの若手社員と小田原市の若手職員による交流会の最終報告会を3月19日に開催しました。



1. 背景・経緯

NTT東日本グループの若手社員と小田原市の若手職員が交流会*1 を行い、市が抱える課題に対する政策提言を目標に、「食品ロス削減*2」と「魚の魅力発信*3」の2テーマについて、計9名（NTT 東日本 6名、小田原市3名）が2023年8月から2024年2月末日まで活動していました。

<*1> https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/pdf/20230810_01.pdf

<*2> https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/pdf/20231128_01.pdf

<*3> https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/pdf/20240226_03.pdf

2. 最終報告会の概要と参加者のコメント

(1) 日時： 2024年3月19日(火) 16時～17時

(2) 会場： 小田原市役所 本庁7階大会議室（神奈川県小田原市荻窪300）

(3) 内容： 各テーマの取組・提言内容を発表し、各所属の関係者からコメントをいただきました。



守屋小田原市長冒頭挨拶



食品ロス削減グループの発表



魚の魅力発信グループの発表 1



魚の魅力発信グループの発表 2

(4) 参加者コメント

■食品ロス削減グループ

- ・小田原市 環境政策課 石井陽太さん

昨年8月から3月までの間、毎週2時間のWeb会議やフィールドワークなどを行いました。通常業務と両立していくのは大変なこともありましたが、NTT 東日本様の社員の皆様と一緒に仕事をすることで、特にスピード感の部分で刺激を受けました。

市職員だけでは解決できない課題も、民間事業者と協力することで、スピーディーに対応していける可能性を感じました。

- ・NTT 東日本 神奈川事業部 神奈川西営業支店 龍光俊樹さん

現状分析から実証環境の構築・運用、解決策の検討に至るまで、プロジェクトメンバー内で常に連絡を取り合い、協力を重ねて取り組みました。課題解決に向けた仮説検証を繰り返し、計画の修正を経て進行しました。苦労もありましたが、非常に有意義な経験となりました。

小田原市様をはじめ、市内の飲食店様および多くの市民の皆さまに支えていただきました。このプロジェクトに関わってくださった全ての方々に、心から御礼申し上げたいと思います。

■魚の魅力発信グループ

- ・小田原市 水産海浜課 一戸賢人さん / 秋山真生さん

交流会での取組で、漁港等の来場者の属性分析や人流分析を行いました。改めて、データに基づく施策検討の重要性を実感しました。

NTT 東日本様の社員の皆様と一緒に、市内の高校生を巻き込んで施策を検討・実施していましたが、今回の取組によりできた人脈や知識を今後の自身の業務にも生かしていきたいと考えています。

- ・NTT 東日本 神奈川事業部 神奈川支店 波多野雅紀さん

交流会を通して小田原市様・NTT 東日本におけるそれぞれの価値観やノウハウ・アセットを組み合わせることで、普段の業務では得ることのできない気づきや市政課題に対する取り組みについて学ぶことができ、産学官民連携の可能性を感じることができました。

今回の施策で得た知見を活用し、今後の市活性化目線でのマーケティングを行いお客さまへ展開を

していきたいです。

■小田原市 経済部 武井理事

限られた時間のなかで非常に丁寧に検討していただきありがとうございました。こういったプロジェクトは1,2週間の期間を空けてしまうと、よく話が前に戻ってしまい確認に時間を要し成果を得るのが難しかったかと思います。しかし、両チームともしっかりと政策提言のゴールまでたどり着いており素晴らしかったと思います。公民連携ということで、それぞれ違う目線でお互いに気が付かないことに気が付いていただいたようで大変嬉しく思いました。ここで繋がった人と人の繋がりが一番の財産だと思いますので、今後も続けて大切にしていっていただきたいです。



■小田原市 環境部 藤澤理事

約7か月、熱心な取り組みをしていただきありがとうございました。こういった異業種の繋がりは非常に価値のあるものですので、今後も継続して大切にしていきたいと思います。

現在は少子高齢化などの大きな変化に伴い地域課題の難易度が増しています。その課題解決のためには市区町村の行政のリソースのみでは明らかに限界があります。行政ではなかなかできないことを公民連携で今回のように取り組めたということだけでも非常に重要な結果を得られたと思います。地域社会の明るい未来のために、今後も継続して公民連携に取り組んでいきたいと思っています。



■NTT 東日本 執行役員 神奈川事業部長 相原 朋子

それぞれの業務が忙しいなかで、お互いのリソースや知恵を出し合っ
て課題に取り組んでいただきありがとうございました。今回の提言から
たくさん気づきをいただきました。この後もこの交流が継続・促進して
いけばよいと思っています。今回提言したことを体制・コストを含めて
どう実現していくかなど、当社目線、小田原市様目線の官民連携でさら
に深掘りして、ぜひ実現していただきたいです。7か月本当にお疲れ様
でした。



【本件に関する報道機関からの問い合わせ先】

NTT 東日本 神奈川事業部 企画総務部 企画部門 広報担当

TEL : 045-226-6123 MAIL : kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp